

平成 20 年 度

事 業 報 告 書

平成 21 年 3 月

財団法人 徳川黎明会
総務部
徳川美術館
徳川林政史研究所

目次

1. 公益事業	P. 1
2. 徳川美術館拡充整備基金（公益事業）	P. 4 1
3. 収益事業	P. 4 4

1. 公益事業

総務部

1. 事業事項

〔I〕 調査・研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
1. 尾張徳川家の婚姻について	専務理事・総務部長・学芸員 近松 真知子	昭和 62 年
2. 尾張徳川家系図の調査研究	〃	63 年
3. 中世・近世初期の「漢画」の研究	非常勤学芸員 林 里絵	平成 11 年
4. 徳川義親に関する調査研究	〃	19 年
5. 江戸時代の国学興隆が絵画製作に及ぼした影響について	〃 鎌田 純子	19 年
6. 川面版 源氏物語絵巻の研究	〃 林 里絵・鎌田純子	19 年

〔II〕 研究発表

1. 講演

会長・美術館長 徳川 義崇

演 目	主 催	会 場	年月日
尾張徳川家による源氏物語 絵巻 保存・公開への取り 組み	霞会館	霞会館	平成20年 4月 1日
徳川のよもやま話	I T C名城クラブ	徳川園ホール	〃 4月11日
徳川義親の足跡をたどって	明和会	ウェスティン ナゴヤキャッスル	〃 8月24日
文化を守る ～徳川義親の足跡をたどって～	としま文化フォーラム 実行委員会	東京芸術劇場	平成21年 3月 4日

〔Ⅲ〕 編 集

1. 金鯨叢書 第36輯

近松真知子・林 里絵

〔Ⅳ〕 所 蔵 品 出 陳 (他館主催展覧会)

	出 陳 先	展 覧 会 名 称	期 間	出 陳 品
1	大倉集古館	「華やかな日本刀 備前一文字」	H20. 4. 6～ 5. 18	重要文化財 刀 無銘助真 一口 他5点
2	茨城県陶芸美術館	「人間国宝 荒川豊藏」	H20. 4. 19～ 6. 22	志野茶碗 銘 玉川 一口
3	京都府京都文化 博物館	「源氏物語大展」	H20. 4. 26 ～6. 8	重要文化財 源氏物語絵詞 一卷
4	東京富士美術館	大三国志展 一悠久の大地 と人間のロマン	H20. 5. 3～ 7. 13	建安瓦硯 徳川家康所用 一面
5	奈良国立博物館 名古屋市博物館 NHKサービスセンター	特別展 「西国三十三所 一観音霊場の祈りと美」	奈良国立博物館 H20. 8. 1～ 9. 28 名古屋市博物館 H20. 10. 18～11. 30	春日曼陀羅 一幅 長谷寺縁起絵巻 一卷
6	横浜美術館 NHK 事業センター NHKプロモーション	特別展 「源氏物語の1000年一あこ がれの王朝ロマン」	H20. 8. 30～11. 3	源氏物語絵巻復元模写 七面 他3点
7	金沢能楽美術館	秋季特別展 「尾張徳川家 幽玄の美 一 能面と能装束一」	H20. 9. 20～10. 19	能面 舞尉 一面 他33点
8	京都文化博物館	企画展 「雅の継承 源氏物語絵巻 に挑む」	H20. 9. 26～10. 24	源氏物語絵巻 (模本) 田中親美 筆 下巻 一卷
9	和泉市久保惣記念 美術館	特別展 「香炉一東アジアの香りの 文化をたどる一」	H20. 10. 11～11. 30	国宝 初音蒔絵調度 香盆飾り 一具 他11点

10	NHKプロモーション 「江戸東京の茶の湯」 展実行委員会	東京茶道会創立百周年記念 「江戸・東京の茶の湯 ー近代茶の湯の黎明ー」	H20. 10. 22～11. 4	小倉色紙 ももしきや 一幅 他3点
11	岐阜市歴史博物館	特別展 「兼定と兼元ー戦国時代の 美濃刀」	H20. 10. 24～11. 30	脇指 銘 兼元 一口
12	五島美術館	特別展 「古渡り更紗 ー彦根更紗を中心にー」	H20. 10. 25～11. 30	白地花唐草文更紗裂 一枚 他5点
13	京都国立博物館 サントリー美術館	特別展 「Japan蒔絵ー宮殿を飾る 東洋の燦めき」	H20. 12. 23 ～21. 1. 26	四季草花文金銀玉石螺鈿 蒔絵小沈箱 一合
14	九州国立博物館	九州国立博物館文化交流展示 「海の道・アジアの路」	H21. 1. 1～ 2. 1	国宝 初音蒔絵調度 文台・硯箱 一具 祝枕 一對
15	京都国立博物館 他	特別展 御即位20年記念 「京都御所ゆかりの至宝」 ー甦る宮廷文化の美ー」	H21. 1. 10～ 2. 22	枝菊蒔絵香合 一合

2. 処務事項

〔I〕 役員に関する事項

(平成21年3月31日現在)

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職 業	最初就任年月
理事	徳川 義崇	平成20. 5. 30	会 長	八雲産業(株)社長 徳川美術館 館長	平成 5. 5
〃	近松真知子	〃	専務理事	(財) 徳川黎明会 総務部長	〃 18. 5
〃	竹内 誠	〃	常務理事	東京学芸大学名誉教授 徳川林政史研究所 所長	〃 13. 5
〃	徳川 斉正	〃		(財)水府明德会会長	〃 13. 5
〃	中田 易直	〃		中央大学名誉教授	〃 14. 11
〃	近藤 道生	〃		(株) 博報堂最高顧問	〃 14. 11
〃	前田 利祐	〃		(社) 霞会館理事	〃 18. 5
監事	田中 秀隆	〃		(財)三徳庵専務理事	〃 5. 5
〃	竹田 憲央	〃		中央化学(株) 国際本部長	〃 17. 3
〃	松平 頼武	〃		(学) 本郷学園理事長	〃 13. 5
評議員	麻生 太郎	〃		衆議院議員	〃 4. 2
〃	太田 宏次	〃		(財) 東洋医学研究財団 理事長	〃 16. 5
〃	海部 俊樹	〃		衆議院議員	平成 4. 1
〃	加戸 守行	〃		愛媛県知事	〃 7. 5
〃	小林 喬	〃		富国生命保険(相)相談役	昭和59. 12
〃	里中 哲朗	〃			平成 9. 3
〃	佐藤 豊三	〃		徳川美術館専門参与	〃 18. 5
〃	佐野文一郎	〃		(社)日本工芸会 理事長	〃 13. 5
〃	徳川 義真	〃			〃 10. 5
〃	中村 誠治	〃		(株) 北芝建設相談役	〃 17. 3
〃	西崎 清久	〃		(学) 共立女子学園 常務理事	〃 13. 5
〃	原 俊夫	〃		(財)アルカンシエール 美術財団 理事長	昭和 53. 12
〃	濱本 英輔	〃		(株) ロッテ顧問	平成 13. 5

役名	氏名	就任年月日	担当事務	職業	最初就任年月
評議員	林 董一	平成18. 5. 30		愛知学院大学名誉教授	平成 1. 10
〃	久富 修	〃			〃 5. 5
〃	深井 雅海	〃		国学院大学 栃木短大教授 徳川林政史研究所副所長	〃 9. 4
〃	松平 恒忠	〃		日本英語交流連盟 専務理事	平成13. 5
〃	深山 明敏	〃		(財)借行社 理事	〃 9. 3
〃	山本 泰一	〃		徳川美術館 名誉副館長 ・上席参与	〃 5. 5
合 計		29名			

〔Ⅱ〕職員に関する事項

1. 総務部

(平成21年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務	
総務部	部長	専務理事	近松真知子	昭和61. 3. 20	総務・学芸関係事項総括
	課長・秘書室長 (庶務担当)	主事補	神田 映子	平成 2. 9. 10	総務・学芸関係事項 林政史 保管写真管理 役員秘書業務
	課長 (会計・経理担当)	〃	田中 博之	〃 9. 6. 1	経理・会計事項
		嘱託	宮 裕美	〃 8. 11. 5	美術館保管写真管理
合 計		4 名	他に非常勤嘱託 6名 (うち1名 非常勤学芸員兼任) 非常勤学芸員 1名		

2. 徳川美術館

(平成21年3月31日現在)

職名	職階	氏名	就任年月日	担任業務	
館長	会長	徳川 義崇	平成17. 12. 1	館務総括	
副館長	参事補	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	館長補佐	
名誉副館長 上席参与 (渉外担当)	嘱託	山本 泰一	平成19. 12. 4		
学芸部	部長	参事補	四辻 秀紀	昭和58. 2. 15	学芸関係事項統括
	係長	書記	吉川 美穂	平成 5. 4. 1	学芸事項
		〃	龍澤 彩	平成13. 4. 9	〃
		〃	原 史彦	〃 19. 4. 1	〃
	〃	下畑いつこ	〃 19. 10. 1	〃	
専門参与	嘱託	佐藤 豊三	〃 18. 9. 28	〃	
企画情報部	部長	主事	小池 富雄	昭和53. 2. 8	企画情報関係事項統括
	課長 (教育普及担当)	主事補	加藤 啓子	〃 58. 4. 1	企画情報事項
		書記	並木 昌史	平成 7. 4. 1	〃
		〃	志賀 太郎	〃 16. 9. 1	〃
		〃	坪井 美幸	〃 20. 4. 1	〃
業務部	部長	嘱託	寺島 一夫	平成19. 4. 11	庶務・管理関係事項統括
	課長 (管理担当)	主事補	野村 弘和	昭和63. 3. 1	管理事項
		〃	長谷 峰生	〃 63. 3. 1	庶務・経理・会計事項
	係長	書記	長沼 英樹	平成12. 4. 1	営繕事項
		〃	大田 智恵	1. 7. 1	庶務及び会計事項
		〃	小塚 愛弓	〃 18. 4. 1	庶務事項
		補手	間瀬田 憲次	〃 15. 12. 9	管理事項
	〃	〃	間瀬田 加代	〃	〃
合計		21 名	他に非常勤研究員 11 名(うち1名 役員兼任) 非常勤研究生 1 名		

3. 徳川林政史研究所

(平成21年3月31日現在)

職 名	職 階	氏 名	就任年月日	担 任 業 務
所 長	常務理事	竹内 誠	平成10.10. 1	所務総括
副 所 長	参事補	深井 雅海	平成11. 4. 1	所長補佐並びに研究・補助金 交付事項
主任研究員	主事補	太田 尚宏	〃 11. 4. 1	研究及び蔵書目録編纂事項
研 究 員	書 記	白根 孝胤	〃 15. 4. 1	〃
係 長	〃	鶴岡 香織	〃 11. 4. 1	林政史研究所庶務
合 計		5 名	他に特任研究員 14 名 非常勤研究員 9 名 非常勤研究生 11 名	

4. 職員総計

総 計	30 名	他に 非常勤嘱託 6 名 (うち1名 非常勤学芸員兼任) 非常勤学芸員 1 名 特任研究員 14 名 非常勤研究員 20 名 (うち1名 役員兼任) 非常勤研究生 12 名
-----	------	---

なお上記のほか、部外の業務・研究協力者を参与に委嘱している。この人員は美術館2名・林政史研究所6名となっている。

〔Ⅲ〕役員会に関する事項

1. 理事会

第1回 ①

- 開催 平成20年5月30日 午後2時30分 当会に於いて
- 議事 1. 平成19年度事業報告の件
2. 平成19年度決算報告並びに監査報告の件
3. 任期満了による評議員選出の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。
3. 現在、評議員は前回改選時のまま20名であるが、任期満了により新たに評議員を選出するにあたり、松平保定氏を除く19名の重任の承諾を得たため、引き続きこの19名に評議員を委嘱したいとの提議があり、出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため、これを承認可決した。

第1回 ②

- 開催 平成20年5月30日 午後3時30分 当会に於いて
- 議事 1. 会長・専務理事・常務理事の選出の件
- 結果 1. 評議員会において選出された7名の理事（平成20年5月30日付就任）の中から、選挙の結果、次の通り決定した。（欠席者は議決権行使書により参加）
会長理事 徳川義崇
専務理事 近松真知子
常務理事 竹内 誠

第2回

- 開催 平成21年3月26日 午後5時 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号霞ヶ関ビル34階 霞会館に於いて
- 議事 1. 平成20年度収支更正予算案審議の件
2. 平成21年度事業計画及び同収支予算案審議の件
- 結果 1・2. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も賛成を得られたため原案の通り承認可決された。

2. 評議員会

第1回 ①

- 開催 平成20年5月30日 午後2時 当会に於いて
- 議事 1. 平成19年度事業報告の件
2. 平成19年度決算報告並びに監査報告の件
- 結果 1・2 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、両議案とも原案の通り承認可決された。

第1回 ②

- 開催 平成20年5月30日 午後3時 当会に於いて
- 議事 1. 任期満了による理事・監事選出の件
- 結果 1. 理事会において承認可決された新評議員に対し、理事及び監事の選出をしたい旨の提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、次の通り承認可決された。

理事

徳川義崇（重任）、近松真知子（重任）、竹内 誠（重任）
近藤道生（重任）、徳川斉正（重任）、中田易直（重任）
前田利祐（重任） 以上7名

（平成20年5月30日就任）

監事

田中秀隆（重任）、竹田憲央（重任）、松平頼武（重任） 以上3名

（平成20年5月30日就任）

第1回 ③

- 開催 平成20年5月30日 午後4時 当会に於いて
- 議事 1. 専務理事・常務理事就任に関し給与年額最高支給額設定の件
- 結果 1. 林政史研究所 竹内 誠 所長の再度の常務理事就任にあたり、当会寄附行為第23条に照らし、給与年額最高支給額を前回同様3,000千円と設定したい。また、当財団総務部長 近松真知子が再度専務理事に就任するにあたり、これも同条目に照らし給与年額最高支給額を 15,000千円と設定したいとの提議があり、審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を得られたため、これを承認可決した。

第2回

- 開 催 平成21年3月26日 午後4時 東京都千代田区霞ヶ関3丁目2番5号霞ヶ関ビル34階
霞会館に於いて
- 議 事 1. 平成20年度収支更正予算案審議の件
2. 平成21年度事業計画及び同収支予算案審議の件
- 結 果 1・2. 審議の結果出席者一同異議なく、また議決権行使書による意思表示も全員賛成を
得られたため原案の通り承認可決された。

〔IV〕 監査に関する事項

平成19年度決算監査が、平成20年5月28日当会に於いて行われ、その結果適法正確と認められた。

〔V〕 寄附金に関する事項

平成19年2月9日、通算9回目の特定公益増進法人の認定を受けた。

これに基づき平成21年2月8日を目処に総額25,000千円として募金活動を開始したところ、19,121千円を以て完結した。

引き続き平成21年2月9日、通算10回目の認定を受けた。これに基づき平成23年2月8日を目処に総額25,000千円として募金活動を開始したが、これも大方の理解と協力を得て平成21年3月31日現在、法人1件（3口）、個人7件（18口）合計480千円が寄せられている。

〔VI〕 新公益法人制度に伴う移行に関する事項

平成20年12月1日付 当会は新公益法人移行期間開始により、特例民法法人となった。

徳川美術館

1. 事業事項

[I] 調査・研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
(1)館蔵品悉皆調査	学 芸 部 共 同	昭和63年
(2)尾張徳川家関係寺社蔵品調査	” ”	” 58年
(3)徳川美術館蔵仏画の調査研究	名誉副館長 山本泰一	” 49年
(4)請来仏画の研究	” ”	” 56年
(5)『君台観左右帳記』の研究	学芸部・専門参与 佐藤豊三	” 58年
(6)茶の湯の名物道具について(名物論) －『玩貨名物記』を中心にして－	” ”	” 63年
(7)戸山屋敷御成について	” ”	平成 3年
(8)近世名古屋城下における文芸活動 －尾張藩士を中心に－	企画情報部長・学芸員 小池富雄	昭和57年
(9)幸阿弥派蒔絵の研究	” ”	平成元年
(10)古代・中世の料紙装飾の系譜	副館長・学芸部長 四辻秀紀	昭和60年
(11)歌絵・物語絵の研究	” ”	平成 3年
(12)近世絵画の研究	学芸部係長・学芸員 吉川美穂	” 6年
(13)尾張を中心とする画家の活動について	” ”	” 11年
(14)尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	学芸員 並木昌史	” 8年
(15)有職装束の研究	” ”	” 8年
(16)中近世やまと絵の研究	” 龍澤 彩	” 13年
(17)館蔵朝鮮陶磁の調査研究	” ”	” 16年
(18)東アジア絵画とその影響を受けた日本中近世絵画の研究	” 志賀太郎	” 16年
(19)室町将軍家を中心とする唐物の受容について	” ”	” 20年
(20)徳川将軍家と尾張家の研究	” 原 史彦	” 19年
(21)長篠・長久手図屏風の研究	” ”	” 20年

2. 文部科学省科学研究費補助金による研究

「国宝 初音の調度の総合的研究」	代表 小池富雄	平成19年
------------------	---------	-------

[II] 研究発表

1. 金鯨叢書 第36輯

- | | |
|-----------------------------|------|
| (1)新発見の「源氏物語絵巻 桐壺」製作背景とその特質 | 吉川美穂 |
| (2)尾張徳川家伝来「羅生門絵巻」について | 龍澤 彩 |
| (3)長篠・長久手合戦図屏風の製作背景 | 原 史彦 |

2. 尾陽 第六号

3. 特別展図録(部内)

(1)春季特別展「桃山・江戸絵画の美」

- | | |
|-------------|---------------------|
| ・尾張徳川家と近世絵画 | 吉川美穂 |
| ・図版解説 | 四辻秀紀・吉川美穂・龍澤 彩・志賀太郎 |

(2)秋季特別展「室町将軍家の至宝を探る」

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| ・概説 室町将軍家の至宝を探る | 志賀太郎 |
| ・足利義満時代の善阿弥と鑑蔵印について | 山本泰一 |
| ・能阿弥・相阿弥と伝えられる外題について | 志賀太郎 |
| ・室町時代における唐物漆器の受容 | 小池富雄 |
| ・図版解説 | 四辻秀紀・山本泰一・佐藤豊三・龍澤 彩・志賀太郎 |

4. 特別展図録(部外)

- (1) 広島県立歴史博物館「徳川家姫君の華麗なる世界-徳川美術館の名品-」

5. その他雑誌・刊行物

- | | | |
|-------------------|-------------|-----------|
| (1)「桃山・江戸絵画の美」展 | (中日新聞 一点解説) | 吉川美穂 |
| (2)「室町将軍家の至宝を探る」展 | (") | 山本泰一・志賀太郎 |

〔Ⅲ〕文化財保存

1. 収蔵品修理

葉月物語絵巻 十二面 (平成17～19年度の国宝重要文化財等保存整備費補助金による補助事業で、20. 5. 15に支払いが完了した。)

2. 購入

- | | |
|----------------------------------|----|
| (1)岡本宣就書状 小堀遠州宛 九月二十八日 | 一枚 |
| (2)二大字「慎忍」 徳川慶勝筆 | 一幅 |
| (3)前田利長書状 堀久太郎(秀治)宛(慶長十四年)九月二十七日 | 一枚 |
| (4)堀秀治書状 堀太郎左衛門尉(秀重)宛(慶長八年)七月十五日 | 一枚 |
| (5)堀丹後守(直寄)書状 堀三郎四郎宛 六月十三日 | 一枚 |
| (6)長崎弥左衛門書状 伊沢隼人宛 | 一枚 |
| (7)豊臣氏大老連署御掟追加写 | 一枚 |

3. 受贈

普通美術品

- | | | |
|-----------------------------|-----|-------|
| (1)源氏物語絵巻 現状模写「竹河一」詞書 第一・二紙 | 一面 | 中村英生氏 |
| (2)源氏物語絵巻 現状模写「絵合」詞書 第一・二紙 | 一面 | 波根靖恵氏 |
| (3)源氏物語絵巻 現状模写「東屋一」詞書 第三紙 | 一面 | 椿 潤也氏 |
| (4)源氏物語絵巻 現状模写「竹河二」絵 | 一面 | 川名倫明氏 |
| (5)源氏物語絵巻 現状模写「竹河二」詞書 第一・二紙 | 一面 | 〃 |
| (6)源氏物語絵巻 現状模写「柏木一」絵 | 一面 | 板橋健一氏 |
| (7)源氏物語絵巻 現状模写「柏木一」詞書 第一・二紙 | 一面 | 〃 |
| (8)桜橘 | 二対 | 中村豊子氏 |
| (9)隨身 | 一對 | 〃 |
| (10)三宝・造花付白台 | 各一對 | 〃 |
| (11)能人形 | 一對 | 〃 |
| (12)雪洞 | 一對 | 〃 |
| (13)土人形 | 五体 | 〃 |
| (14)細工小箱・人形・ミニチュア八百屋・籠屋 | 一揃 | 〃 |
| (15)菓子重 | 一合 | 〃 |
| (16)狎引き官女人形 | 一体 | 〃 |
| (17)ビスクドール(大・小) | 六体 | 〃 |
| (18)花札 | 一式 | 〃 |
| (19)古今雛 附 上畳 一對 桜図雛屏風 六曲一隻 | 一對 | 鈴木綾子氏 |

4. 収蔵品の撮影

部 内

- (1) 「徳川家康と戦国のたたかい」展関係
- (2) 「尾張徳川家の仏教美術」展関係
- (3) 「室町将軍の至宝」展関係
- (4) 「日本の楽器」展関係
- (5) 「尾張徳川家の雛まつり」展関係
- (6) 「蓬左 学びながら遊ぶ」展関係
- (7) 「蓬左 源氏物語の世界」展関係
- (8) 新規購入・寄贈、修理後作品撮影

部 外

- (1) 五島美術館依頼 (竹茶杓 古田織部作 ほか)
- (2) 便利堂依頼 (徳川家康三方ヶ原戦役画像)
- (3) 富士フィルム依頼 (源氏物語絵巻 蓬生 ほか)
- (4) 東京文化財研究所依頼 (能管 蟬折 ほか)
- (5) 名古屋市市政資料館依頼 (神田明神祭礼図巻 ほか)
- (6) 文化庁依頼 (葵紋蒔絵刀掛 ほか)
- (7) 茶道資料館依頼 (猿面硯 ほか)

5. 図書の購入・受贈

1. 図書は、『形物香合図鑑』、『松斎梅譜』、『南蛮屏風集成』などの他、『大日本史料』(東京大学史料編纂所)、『大東急記念文庫善本叢刊』(汲古書院)、『史料纂集』(八木書店)などの継続により、計396冊を購入。また、『日本における外来美術の受容に関する調査・研究報告書』(東京文化財研究所)、『裏千家今日庵歴代』(淡交社)、『伊藤圭介日記』(名古屋市東山植物園)など計481冊の寄贈を受けた。
2. 雑誌は、『國華』、『佛教芸術』、『美術史学研究』(韓国美術史学会)、『文物』、『故宮學術季刊』などの定期購読のほか、『京都美術青年会誌』復刻版など、計311冊を購入。また、『茶道の研究』、『刀剣美術』、『美術研究』、『MUSEUM』ほか多数の寄贈を受けた。

〔Ⅳ〕展 示

1. 常設展示(第1～6室)

(1)大名の生活と文化	約1ヶ月毎に展示替		
	常設展示入場者数(企画展示期間を除く)		10,830人
(2)特別公開	国宝 源氏物語絵巻 橋姫・宿木三	20. 11. 22 ～ 11. 30	第5室
(3)特別公開	千利休 泪の茶杓	21. 2. 21 ～ 3. 1	第2室

2. 企画展示 (第7～9室)

	(会 期)	(入場者数)
(1)春季特別展 桃山・江戸絵画の美 (中日新聞社共催)	20. 4. 12 ～ 5. 18	26,149人
(2)企画展示 備前刀の華 一文字 (大倉集古館・佐野美術館・林原・日本経済新聞社共催)	5. 24 ～ 7. 6	25,105人
(3)夏休み歴史教室 徳川家康と戦国のたたかい (朝日新聞社共催)	7. 12 ～ 8. 31	34,251人
(4)企画展示 神仏に祈る 一尾張徳川家伝来の仏教美術一 (日本経済新聞社共催)	9. 6 ～ 9. 28	13,654人
(5)秋季特別展 室町将軍家の至宝を探る (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 4 ～ 11. 9	34,942人
(6)企画展示 日本の楽器 一音の文化史一 (朝日新聞社共催)	11. 15 ～ 12. 14	23,354人
(7)企画展示 福を招く一吉祥のデザイナー一 (日本経済新聞社共催)	21. 1. 4 ～ 2. 1	10,211人
(8)特別展 尾張徳川家の雛まつり (中日新聞社共催)	2. 7 ～ 4. 5	61,010人

企画展示入場者数合計	228,676人
平成20年度総入場者数	239,506人

3. 蓬左文庫展示室

展示室1・2および徳川美術館第5展示室		
	春季特別展 桃山江戸絵画の美 (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催)	20. 4. 9～ 5. 18
展示室 1	尾張の武道	5. 21～ 7. 21
展示室 2	諸国城下図探訪	〃
展示室 1	妖怪絵本 ーもののけ・お化けの世界ー	7. 24～ 9. 28
展示室 2	軍記物 ー戦争とものがたりー	〃
展示室1・2		
	秋季特別展 室町将軍家の至宝を探る (名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・文化庁共催)	10. 1～11. 9
展示室 1	大陸文化の薫り ー清朝の美術工芸ー	11. 12～12. 14
展示室 2	尾張の殿様 二代徳川光友の蔵書	〃
展示室 1	遊びながら学ぶ ー江戸から明治の教育アイテムー	21. 1. 4～ 2. 15
展示室 2	尾張名所めぐり	〃
展示室 1	桜・さくら	2. 18～ 4. 5
展示室 2	狂歌の世界	〃

4. 外部展示

- (1) 広島県立歴史博物館 「徳川家姫君の華麗なる世界-徳川美術館の名品-」 20. 10. 17～11. 24
(2) 金沢能楽美術館 「尾張徳川家幽玄の美 ー能面と能装束ー」 9. 20～10. 19

5. 特別観覧

	(会 期)	(入場者)
(1) 葵茶会	20. 5. 10, 11, 18	923人
(2) 徳川茶会	20. 10. 12～11. 3(7日間)	2,640人

6. 展示品リスト・キャプション・解説 作成 学芸部共同

7. 文化財管理システムの更新準備

8. 助成申請

(1) 名古屋市共催負担金

「夏休み子ども特別企画」について、名古屋市への共催申請が認可され、100,000円の交付が決定した。

(2) 平成20年度「文化庁芸術拠点形成事業（ミュージアムタウン構想の推進）」支援金

「夏休み子ども特別企画」、「土曜子ども教室」（6月～21年3月開催分）、「日本の楽器特別企画」（雅楽、「御座楽」復元演奏）、「小中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー」について、経費支援の申請が認可され、2,757,438円の交付が決定した。

[V] 特別観覧（敬称略）

（観覧者）	（年月日）	（作品）
(1) 橘 倫子（今日庵 茶道資料館）	20. 4. 17	渭原葡萄硯ほか3件
(2) 星野貞雄（中日映画社）ほか6名	6. 13	太刀 銘 正恒ほか2件
(3) 白井進（龍村美術織物）ほか5名	6. 19	白緞子仕覆 (唐物茶入 銘 唐丸壺附属)
(4) 小池富雄（徳川美術館企画情報部）ほか13名	6. 25, 26	初音蒔絵鏡台ほか10件
(5) 中嶋直子（便利堂）ほか4名	6. 27	徳川家康三方ヶ原戦役画像
(6) 高桑いずみ（東京文化財研究所）ほか6名	7. 15, 16	能管 蟬折ほか9件
(7) 土山公仁（岐阜市歴史博物館）ほか2名	7. 24	脇指 銘 兼元ほか6件
(8) 畑 智子（京都文化博物館）	7. 24	源氏物語絵巻（田中親美本）
(9) 橘 倫子（今日庵 茶道資料館）	8. 21	猿面硯ほか2件
(10) 鎌田由美子（東京大学大学院）	8. 21	緞通ほか3件
(11) 池田忍（千葉大学）ほか6名	8. 22	源氏物語絵詞ほか2件
(12) 高樹経沢（大仁堂）ほか2名	8. 27	屈輪文犀革食籠ほか9件
(13) 景井詳雅（洛星中学・高等学校）	9. 11	綺語抄
(14) 森信潤子（バク）ほか3名	9. 24	源氏物語画帖
(15) 手塚雄二氏（東京芸術大学）ほか12名	10. 30	源氏物語絵巻 蓬生絵ほか6件
(16) 津田豊彦氏（名古屋市史料調査研究会）ほか3名	10. 31	名古屋天皇祭礼図巻
(17) 戸田浩之（福井県立美術館）	12. 4	豊国祭礼図屏風ほか2件
(18) 砂澤祐子（五島美術館）	12. 10	雲文白磁皿ほか12件
(19) 瀬谷 愛（山口県立美術館）	21. 1. 8	古筆手鑑「尾陽」
(20) 手塚雄二（東京芸術大学）ほか12名	1. 15	源氏物語絵巻 蓬生絵ほか6件
(21) 室瀬和美（目白漆芸文化研究所）ほか7名	1. 28, 29	朱漆花鳥七宝繫文密蛇絵沈金御供飯

(22) 黒田日出男（立正大学）ほか9名	1. 28	豊国祭礼図屏風
(23) 森 泰通（豊田市郷土資料館）ほか2名	2. 12	提瓶ほか6件
(24) 小池富雄（徳川美術館企画情報部）ほか13名	2. 27	初音蒔絵料紙箱ほか10件
(25) 島谷弘幸（東京国立博物館）ほか4名	3. 6	古筆手鑑「玉海」ほか2件
(26) 大友一雄（国文学研究資料館）ほか2名	3. 17	将軍代替誓詞ほか4件
(27) 犬飼伊保子（名古屋市市政資料館）ほか2名	3. 19	徳川綱誠遺言状

〔VI〕 教育・普及

1. 部外出講

（主催者）	（演 目）	（期 間）	（担 当）
(1) 愛知淑徳大学	美術史	後期	四辻秀紀
(2) 南山大学	日本美術史	前期	〃
(3) 中京大学	有職故実	集中	〃
(4) 名古屋造形芸術大学	東洋美術史特講A・B	通年	山本泰一
(5) 東海学園大学	日本文化特論A	集中	〃
(6) 名古屋芸術大学	博物館学各論	通年	佐藤豊三
(7) 愛知県立芸術大学	博物館概論	前期	〃
(8) 名古屋外語大学	文化 I	前期	小池富雄
(9) 南山大学	博物館学Ⅲ	後期	〃
(10) 名古屋芸術大学	博物館実習 I・II	集中	吉川美穂
(11) 椋山女学園大学	博物館実習	〃	〃
(12) 愛知県立大学	日本美術史	後期	龍澤 彩
(13) 栄中日文化センター	絵画で綴られた源氏物語の世界 徳川美術館の名宝	4月～9月 〃	四辻秀紀 龍澤 彩 山本泰一 小池富雄 吉川美穂 並木昌史 志賀太郎 原 史彦
(14) 〃	かな古筆の名品をたずねて 古文書から読み解く戦国武将	10月～21年3月 〃	四辻秀紀 並木昌史 原 史彦
(15) 中京大学	河内本源氏物語本文の基礎的研究	4月～21年3月	龍澤 彩

(16)	みなとの博物館 ネットワーク・フォーラム	徳川美術館の歴史	5. 27		四辻秀紀
(17)	熱田神宮敬神婦人会	徳川義直公と熱田神宮の係り	7. 24		並木昌史
(18)	財団法人未生流会館	華道総合講座	7. 27		四辻秀紀
(19)	社団法人色財協会中部支部	国宝源氏物語と復元模写	9. 11		〃
(20)	東海市教育委員会	徳川吉宗と宗春	11. 8, 22, 29	小池富雄・原史彦	
(21)	四日市栄中日文化センター	描き継がれた源氏物語	11. 6		四辻秀紀
(22)	朝日カルチャーセンター立川	源氏物語の魅力	21. 1. 10		〃
(23)	美濃陶芸協会	美濃陶芸庄六茶碗展審査会	1. 13		佐藤豊三
(24)	彦根藩資料調査研究会	井伊家伝来道具類群の 基礎的研究	1. 22～3. 31		四辻秀紀
(25)	茶道裏千家淡交会	室町将軍家の宝物と同朋衆	2. 15		志賀太郎
(26)	ローマ日本文化会館	源氏物語絵巻	2. 19～26		四辻秀紀
(27)	JTBコーポレート ソリューションズ	尾張徳川家と名古屋城	2. 28		原 史彦
(28)	名古屋市博物館	享元絵巻の世界	3. 7		小池富雄
(29)	碧南市藤井達吉現代美術館	美術館・博物館の コレクションとは	3. 8		〃
(30)	九州国立博物館	CTの調査結果に係る助言	3. 10～11		〃
(31)	立正大学	中世風俗画の高精細デジタル 画像化と絵画史料学研究	3. 14, 15		志賀太郎

2. 職員の委嘱

(1)	名古屋市資料調査研究会	資料調査研究会調査員	14. 12. 21～21. 3. 31	小池富雄
(2)	南山大学人類学博物館オープンリサーチセンター	研究分担者（文化資源の公開のための研究）	18. 4. 1～23. 3. 31	〃
(3)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員（漆工史・工芸史）		19. 2. 1～調査終了時 (1年更新)	〃
(4)	名古屋東生涯学習センター協議会	協議会委員	20. 5. 15～22. 5. 14	〃
(5)	岡崎市博物館	資料収集委員会	20. 4. 1～23. 3. 31	〃
(6)	文化庁文化財 美術館等運営研究協議会		21. 2. 12～2. 13	〃
(7)	愛知県 県史編さん委員会特別調査委員（絵画）		19. 4. 1～調査終了時 (1年更新)	吉川美穂
(8)	妙心寺遠諱局	中部地区妙心寺展アドバイザー	19. 10. 17～展覧会終了時	志賀太郎

3. 学会活動

- (1) 私立美術館会議 事務局 平成3年より
第18回 私立美術館会議 20. 9.17開催 於 川村記念美術館

4. 国宝「源氏物語絵巻」現状摸写製作指導(東京芸術大学製作)

5. 学芸員実習 9名 20. 7.30～ 8. 7

6. 講演会・講座等

(1) 定期研究発表会

(内 容)	(年月日)	(講 師)
第53回 無住子筆「朝陽対月図」について	20. 6.28	志賀太郎
第54回 尾張家十四代慶勝が購入した浮世絵	21. 2.14	吉川美穂

(2) 記念講演会

(演 目)	(年月日)	(講 師)
江戸絵画の素晴らしさ	20. 4.12	秋田県立近代美術館 館長 河野元昭氏
一文字の世界	5.24	佐野美術館 館長 渡邊妙子氏
シンポジウム「『東山御物』への視覚 -宝物と同朋衆-	10. 4	永青文庫・茨城県陶芸美術館 館長 竹内順一氏 多摩美術大学 教授 島尾 新氏 京都市立芸術大学非常勤講師 家塚智子氏 志賀太郎

(3) 土曜講座「大名の生活と文化」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
尾張徳川家と江戸絵画	20. 4.19	吉川美穂
尾張の武芸 尾張柳生を中心に	5.31	小池富雄
備前一文字と菊一文字	6.14	佐藤豊三
松平・徳川氏の系譜	7.12	原 史彦
尾張徳川家の仏教遺品	9.13	山本泰一
東山御物と「水墨画」	10.11	志賀太郎
尾張徳川家伝来の楽器	11.22	並木昌史
美術工芸品に見る吉祥のデザイン	21. 1.10	龍澤 彩

利休の死をめぐる	2. 21	大日本茶道学会副会長 田中仙堂氏
ひなまつりさまざま	3. 14	四辻秀紀

(4) 夏期講座「室町将軍家の至宝を探る」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
室町将軍家の宝物-三阿弥(同朋衆)の役割	20. 8. 19	山本泰一
室町殿行幸御飭記	〃	佐藤豊三
君台観左右帳記と唐物漆器	8. 20	小池富雄
将軍家ゆかりの中国絵画と室町水墨画	〃	志賀太郎
見学会(銀閣寺、相国寺承天閣美術館、大仙院)	8. 21	

(5) 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
老中水野忠邦と名町奉行遠山金四郎	20. 6. 21	竹内 誠
天保の日光社参	6. 28	深井雅海
諸国巡見使と領民(一)	7. 5	白根孝胤
〃 (二)	7. 12	〃
天保の人返し政策(一)	7. 19	太田尚宏
〃 (二)	7. 26	〃

(6) 能楽講座「尾張徳川家の能」

(内 容)	(年月日)	(講 師)
流儀が違ふと名前まで違ふ	20. 4. 5	シテ方 観世喜正氏・辰巳満次郎氏
こんな面白い間狂言でいいの	5. 10	和泉流狂言方 井上靖浩氏
鬼女登場 こんな囃子です	6. 7	藤田流笛方 藤田六郎兵衛氏
糸唄をうたう鬼女	7. 6	歌人 馬場あき子

(7) 古美術相談会

5回開催 8件。この他に写真の郵送、来館などにより計25件の古美術相談を行った。

(8) 名曲講座

	(内 容)	(年月日)	(入場者)
①	セントラル愛知交響楽団 カルテット「響 Quartett」 (中日新聞社共催)	20. 6. 22	100名
②	加藤恵利子・中村貴志 デュオ「日本の心をうたう」 (中日新聞社共催)	9. 28	160名

(9) 東邦コミュニティカレッジ 共催講座

「畑儀文さんと楽しむシューベルト -シューベルトとロマン派絵画-」 6. 15・29

(10) 特別企画

(a) 端午の節供 特別企画

親と子の甲冑教室' 2008 20. 5. 5 7組 のべ来場者 700名
一般来館者も甲冑や鉄砲に触れる体験コーナーを設置、好評であった。また当日は小中学生入館者無料とした。

(b) 特別企画「尾張柳生家の剣術 -解説と演武-」

柳生新陰流兵法第二十二世宗家 柳生耕一厳信氏 6. 8

(c) 徳川園薪能

8. 9・10

9日狂言「伯母ケ酒」能「羽衣」、10日狂言「萩大名」能「土蜘蛛」 会場：蓬左文庫前広場

(d) 日本の楽器 特別企画

平曲鑑賞会

11. 23

雅楽

11. 24

琉球の宮廷音楽「御座楽」復元演奏

12. 7

(e) あいち子ども芸術大学2008 「琴に親しむ -日本の雅びを奏でる-」 11. 29

(f) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画

21. 2. 28

十二単着付教室(2回) 来場者約900名

(g) 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画

3. 7

オリジナル 香袋・文香をつくる

(11) 土曜子ども教室

20.4.5～21.3.28 44日実施 子ども 1,119名・大人616名 合計1,735名参加

毎週土曜日、小中学生を対象に「土曜子ども教室」を実施。一日三回各約60分。美術の紹介、「今月のポイント」（月替わりで収蔵品を紹介）、「体験タイム」（月替わりで大名文化を体験）、常設展展示室での展示解説。

(12) 夏休み子ども特別企画

名古屋市立小中学校ほかにポスター作成・配布		500枚
「徳川家康と戦国のたたかい」 ギャラリー・クイズ	8. 1～8.31	2,146名
小中学生の歴史教室「家康と戦国時代」	〃	886名
歴史体験教室「作って遊ぼう貝あわせ」	〃	855名
〃 「兜づくり教室」	8. 2・3	21組84名

(13) 賛助会・友の会見学会

第40回 MIHO MUSEUMと佐川美術館をめぐる	20. 5. 8
第41回 雪舟と古仏・世界遺産岩見银山・出雲大社をたずねる	11. 15～18
第42回 京都国立博物館「JAPAN 蒔絵」と茶道資料館「鎌倉時代の喫茶文化」をみる	12. 3

(14) 体験学習受け入れ

5月16日・18日実践女子学園中等部修学旅行320名、10月15日春日井市立石尾台小学校36名、10月31日大府市立大府中学校40名ほか貝あわせ、刀バラバラ、子ども出世すごろくなどの体験後、館内見学。小中学校の分散学習や質問に対応、29団体374名が来館した。

(15) 体験講座 ー日本の伝統文化にふれるー

聞香	24件	667名
貝あわせ	8件	203名

(16) 小・中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー 7.29

中学校の部 16名、小学校の部 31名参加

7. 広報活動

(1) ポスター・ちらし作成 各企画展示ごとに作成

(2) ニュースレター作成

(a) 企画展プレスプレビュー

桃山・江戸絵画の美、備前刀の華 一文字、徳川家康と戦国のたたかい、
神仏に祈る、室町将軍家の至宝を探る、日本の楽器、福を招く、尾張徳川家の雛まつり

(b) 記念講演会、土曜講座、能楽講座、古文書入門講座、夏期講座、定期研究発表会 掲載依頼

(c) 名曲講座、定期研究発表会、記念講演会、8月夜間開館、入館者550万人達成日を当てるクイズ、あいち子ども芸術大学2008、新春福引き掲載依頼

(d) 親と子の甲冑教室、十二単着付教室、夏休み子ども特別企画参加者募集、香袋づくり教室、ひな御膳 掲載依頼

(e) 土曜子ども教室、親と子の甲冑教室、夏休み子ども特別企画、550万人達成、尾張万歳、ひな御膳、十二単着付教室 取材願い

(f) 特別公開 国宝源氏物語絵巻・「泪の茶杓」、特集展示「和宮と篤姫：大奥の幕末」取材願い

(3) プレスプレビュー・取材

	年月日	新聞	放送(ラジオ)
(a) 桃山・江戸絵画の美	20. 4. 11	3	1
(b) 尾張徳川家五月飾り初公開	4. 15	1	3
(c) 端午の節供 特別企画「親と子の甲冑教室」	5. 5	2	3
(d) 備前刀の華 一文字	5. 23	3	1
(e) 源氏物語絵巻初公開	5. 21	4	4
(f) 徳川家康と戦国のたたかい	7. 11	1	2
(g) 夏休み子ども教室	8. 1	0	1
(h) 神仏に祈る	9. 5	0	2
(i) 室町将軍家の至宝を探る	10. 3	4	3
(j) 日本の楽器	11. 15	0	1
(k) 特別公開 国宝源氏物語絵巻	11. 22	1	3
(l) 福を招く	21. 1. 4	3	0
(m) 尾張徳川家の雛まつり・ひな御膳	2. 6	3	3
(n) 十二単着付教室	2. 28	2	1

(4) 雑誌PR(掲載誌) 各企画展を2ヶ月前にPR。

- ・美術関係 芸術新潮 新美術新聞 ほか
- ・婦人雑誌 和楽 家庭画報 婦人画報 ほか
- ・歴史関係 歴史研究 ほか
- ・その他 なごみ 茶道雑誌 ぴあ サライ ほか

(5) 広告掲載

中日新聞社1件、朝日新聞社10件、日本経済新聞社2件、産経新聞1件、御園座パンフレット、キラッ都ナゴヤ、名古屋アートニュース、名古屋市交通局(地下鉄)、名鉄・JR東海の車内ポスター吊り広告、地下鉄構内ポスター掲示、日本通運名古屋支店屋外広告

(6) 印刷物・刊行物・映像 作成・配布

(a) 徳川美術館 パンフレット 作成

土曜子ども教室 ポスター・パンフレット 作成

夏休み子ども特別企画 ポスター 作成

(b) 割引券・年賀状・招待券作成

(c) 優待券作成

(d) 美術館たより「葵」の作成

第66号 4月1日発行

エッセイ「徳川美術館蔵豊国祭礼図屏風について」MIHO MUSEUM館長 辻 惟雄

第67号 7月 1日発行

エッセイ「徳川美術館の思い出」

画家・作家

赤瀬川原平

第68号 10月 1日発行

エッセイ「室町文化の『花』に迫る」

華道家

川瀬敏郎

第69号 1月 1日発行

エッセイ「尾張の和菓子 事始め」

両口屋是清 会長

大島規仔志

8. 賛助会・友の会

(1) 賛助会

(a) 会員状況(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

会員種類	会員数
個人会員	174件(174口)
家族会員	33組(33口)
法人会員	71件(73口)

※家族会員33組中1組は1名増(12,600円増)の1口3名。

(b) 各種行事

- (a) 企画展内覧会 原則として各企画展前日に開催
 (b) 賛助会会員の日 21. 1. 24 135名

(c) 募集 平成21年2月に過去会員を中心に、入会案内を送付。

(2) 友の会

(a) 会員状況(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

会員種類	会員数	内 訳		平成19年度からの継続率
		新規	継続	
一般会員	453件(453口)	320件	133件	29.3%(453件中133件)
情報会員	55件(55口)	39件	16件	29%(55件中16件)

※一般会員453名中19名が半期入会(4,200円)の会員

(b) 募集 平成20年2月に現会員(平成20年度)及び過去会員を中心に、入会案内を送付。

9. ボランティアの会

(1) 登録者数 290名

(2) 展示解説

(a) 平日の解説

(b) 土・日・祝日の展示解説

(c) 土曜子ども教室

(d) 申し込み団体への解説

・ 概要解説 132件(延べ人数5,372名)

・ 体験講座(聞香・貝あわせ)－日本の伝統文化にふれる－ 32件(延べ人数 870名)

(3) 行事

(a) 懇親会 平成21年3月7日(土) 110名

(4) 養成

(a) 第7期生(新会員)の募集・養成

(5) その他の活動

(a) 学芸部・企画情報部業務支援 5名

(b) 特別専任ボランティア 6名

(c) 講座等題字作成 1名

(d) 館内生け花 1名

2. 処務事項

[I] 主な来館者（敬称略）

4月 9日	安倍晋三 前首相夫妻一行	20名
6月 7日	権 哲賢 駐日韓国大使夫妻一行	6名
7月27日	大野松茂 内閣官房副長官	
8月 7日	名古屋市近隣市町村長一行	45名
11月 6日	広島県議会議員一行	13名
平成21年 1月24日	ジェームス・P・ズムワルト 駐日米国首席公使一行	4名

[II] 第17回徳川美術館運営懇話会

開催日	平成20年10月28日（火）午後4時から4時30分
開催場所	徳川美術館 貴賓室
出席委員	名古屋市長 松原武久氏、 社団法人中部経済連合会会長 川口文夫氏、 名古屋商工会議所会頭 岡田邦彦氏、 株式会社三菱東京UFJ銀行名誉顧問 西垣 覚 氏、 名古屋鉄道株式会社会長 木村 操氏、 財団法人徳川黎明会 会長・徳川美術館館長 徳川義崇 （6名）
欠席委員	愛知県知事 神田真秋氏、 トヨタ自動車株式会社最高顧問 豊田英二氏、 中部電力株式会社社長 三田敏雄氏 （3名）
議事進行	議題1 委員交代 名古屋商工会議所会頭交代に伴い岡田邦彦氏が後任委員に、また 名古屋鉄道株式会社相談役 谷口清太郎氏が退任され、後任委員に 名古屋鉄道株式会社会長の木村操氏の選任が了承された。 議題2 座長選任 箕浦宗吉氏の座長退任に伴い、新座長に社団法人中部経済連合会会長 の川口文夫氏の選任が了承された。 議題3 徳川美術館の運営報告等 副館長 四辻秀紀が平成19年度の事業・収支状況・施設管理状況・館 関係情報の報告を行った。 ついで19年度の新館の館内改修工事費、 近隣地域、施設とのタイアップ等について質疑応答を行った。

[Ⅲ] 来館者誘致活動

1. 団体来館者の利用推進

- (1) 旅行会社への働きかけ（関東、近畿、東海地区の大手旅行社・バス会社44社へ働きかけ）
- (2) 旅行会社との観光券契約推進 6社新規契約
- (3) 東海北陸道全線開通に伴い、富山・石川県内の旅行会社67社に企画提案
- (4) ライオンズクラブの出張例会実施 3クラブ実施
- (5) 東海地区の高校PTAに美術館見学の企画提案 3件実施
- (6) 放送大学対面授業の実施 (11/17～18 講堂) 延べ180名出席

※団体入館者数実績 40,567名

2. 個人来館者の利用推進

- (1) 鉄道会社（JR東海、名鉄）へのポスター・チラシによる広報宣伝協力
*企画展示「徳川家康と戦国のたたかい」、秋季特別展「室町将軍家の至宝を探る」
特別展「尾張徳川家の雛まつり」
- (2) 前売券の販売促進
*百貨店友の会（6店舗）2,690枚販売 他、チケットぴあ、ローソンチケット、
東海四県生協で販売実績有り
- (3) 百貨店友の会の見学会実施
*「尾張徳川家の雛まつり」展
三越友の会（21名） 近鉄友の会（18名）
- (4) 鉄道会社主催のウォーキングイベントとタイアップ推進
*「JRさわやかウォーキング」参加者への来館誘致
11.30 実施 実績：190名
21.3.21 実施 実績：42名
- (5) 時間外開館の実施
 - ① 9.26 「日本腎臓学会西部技術大会懇親会」の実施 (参加者 100名)
 - ② 11.26 「東海東京証券 源氏物語絵巻特別鑑賞会」の実施 (参加者 100名)
 - ③ 2.27 「三菱東京UFJ銀行 雛まつり展特別鑑賞会」の実施 (参加者 209名)

(6) 近隣地域・施設・組織との連携

- ①大曽根商店街との連携（各店舗でひな人形の展示、半券提示割引サービスなど）
- ②瀬戸市観光協会との雛まつり展の相互PR連携
- ③フラワードーム2009との相互PR・割引連携（週末連絡バスの運行）
- ④名古屋城との相互PR・割引連携
- ⑤ウェスティンナゴヤキャッスルとの宿泊セットプラン企画 実績：92名
- ⑥㈱ゼットンの株主への入館引き換え券 利用実績：306名

(7) 賛助会新規法人会員の受注推進

新規4件受注

※個人入館者数実績 198,939名

[IV] 特別催事

来館者550万人記念式典

平成20年8月26日

[V] 計画営繕整備

1. 建物・設備管理の中期営繕計画に基づき、短期営繕計画立案と実施

(1) 館内整備実施事項

- 空調冷温水への水質保持用薬液投入
- 空調設備自動制御機器取替
- 業務部給湯室電気温水器取替
- 新館展示室解説板用照明装置取替
- 防排煙設備作動点検
- 空調機AH5インバーター取替
- 南北収蔵庫漏電遮断機取付
- 空調機AH5系統温水制御弁取替
- 館内各所照明器具取替
- 外壁・境界壁・新館玄関・付帯設備修繕工事
- 新館玄関自動ドア稼働装置取替
- 消防設備故障部分取替
- 御旅茶屋給湯設備改善工事
- 来館者用洗面所薬剤洗浄
- 新館・研究棟屋上防水工事
- チラー1号機温水配管破損修理
- 温水配管圧力制御用モーター取替
- 雑排水槽ポンプ取替

(2) 庭園・茶室整備実施事項

- 徳川茶会を主とする庭園維持管理と餘芳軒・山ノ茶屋「襖」「障子」「畳」修繕
- 山の茶屋不動沈下修繕工事

2. 備品整備

購 入

- 入館者用傘立て 1台
- デジタルカメラ 1台および周辺機器一式（平成19年度(財)真照会若手研究者助成金による購入）
- ノートパソコン 1台（科学研究費補助金 間接経費による購入）

受 贈

- AED（自動体外式除細動器）1台（名古屋イーストライオンズクラブより受贈）

3. 諸契約の締結

- 総合管理業務請負契約
- エレベーター・リフト保守契約
- 火災・機械保険契約
- 博物館総合保険

徳川林政史研究所

1. 事業事項

[I] 調査・研究

1. 研究

(課 題)	(担 当)	(開 始)
(1) 近世材木商の研究	所 長	竹内 誠 平成11年4月
(2) 江戸の園地政策	副 所 長	深井 雅海 // 18年4月
(3) 江戸～明治期における林野行政と地域社会	主任研究員	太田 尚宏 // 18年4月
(4) 近世大名家における緑化政策の展開	研 究 員	白根 孝胤 // 20年4月
(5) 中山間地域の近代的展開	筑波大学教授	加藤 衛拡 // 20年4月
(6) 上州山村にみる御巢鷹山と山林経営	東京大学史料編纂所教授	佐藤 孝之 // 19年4月
(7) 徳川慶勝による藩邸植樹政策	非常勤研究員	藤田 英昭 // 20年4月
(8) 飛騨幕領における木材資源の枯渇と植林政策	非常勤研究生	高橋 伸拓 // 19年4月
(9) 秋田藩林政史	秋田工業高等専門学校教授	脇野 博 // 20年4月

2. 科学研究費補助金による研究

文部科学省からの科学研究費補助金を受け、下記の研究を実施した。

(1) 特定奨励費

研究事業名 近世・近代における森林管理・活用史に関する事業

補助事業の一環として、森林管理史アーカイブズ調査を行い、今年度は下記の調査を実施した。

・東北森林管理局・秋田県立公文書館所蔵史料調査および写真撮影	H20. 7. 19～ 7. 22
・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査および史料写真撮影	H20. 8. 26～ 8. 28
・龍野歴史文化資料館所蔵史料調査	H20. 10. 3～10. 5
・秋田県立公文書館所蔵史料調査	H20. 11. 22～11. 25
・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査および史料写真撮影	H21. 1. 16～ 1. 18
・龍野歴史文化資料館所蔵史料調査	H21. 2. 13～ 2. 16
・岐阜県歴史資料館所蔵史料調査および史料写真撮影	H21. 3. 9～ 3. 12

(2) 若手研究 (B)

課 題 番 号 20720178

研究課題名 幕臣の「御雇」任用制に関する研究—近代雇用システムへの展望として—

研究代表者名 田原 昇 (非常勤研究員)

3. 自主事業による史料調査

八雲産業(株)八雲事業所所蔵史料調査 (受託事業)	第1回	H20. 7. 23～ 7. 25
//	第2回	H20. 10. 29～10. 31

[Ⅱ] 研究発表

1. 「研究紀要」第43号 平成20年度

- | | |
|--|-------|
| (1) 尾張藩御林の管理・利用形態と茸狩 | 白根 孝胤 |
| (2) 木曾山庄屋の村外本伐請負と杣日用の出持
－尾張藩享保林政改革を中心に－ | 大崎 晃 |
| (3) 飛騨幕領における木材資源の枯渇と植林政策
－享保～延享期を中心に－ | 高橋 伸拓 |
| (4) 上州山中領における御巢鷹山と山林政策の変遷(下) | 佐藤 孝之 |
| (5) 尾張家一四代徳川慶勝の藩政改革と櫨木植栽 | 藤田 英昭 |
| [研究ノート] | |
| (6) 秋田藩林政と森林資源保続の限界 | 脇野 博 |

2. 研究会

- (1) シンポジウム「国有林史料から見た新しい地域史像」(特定奨励費補助事業) (H21. 3. 27)
日本農業史学会大会シンポジウムに企画参加
於 筑波大学

座長 加藤衛弘(筑波大学教授 徳川林政史研究所特任研究員)

報告1 盛岡藩における御山支配と山林利用 金谷千亜紀(筑波大学大学院)

2 青森県下の国有林経営と地域社会 脇野 博(秋田工業高等専門学校教授)

3 美濃国における木材資源の管理と利用 高橋伸拓(徳川林政史研究所非常勤研究生)
－弘化期「御林帳」を素材として－

4 享保度林・新立林と私林・民有林の形成 田原昇(徳川林政史研究所非常勤研究員)
－木曾官民有区分の一側面－

コメント 浪川健治(筑波大学教授)

- (2) 第1回研究会〈非常勤研究員・研究生研究発表会〉(H20. 8. 1)

「机上之日記」について

石山 秀和

近世香取神宮の官位について

川島 孝一

尾張藩江戸屋敷の「御長屋」

渋谷 葉子

尾張藩主の交誼関係から見た江戸屋敷－九代藩主宗睦期を中心に－

根岸 美季

文政期における鷹場取締の一側面－文政6年の浅草寺内家作統制を中心に－

山崎 久登

御守殿の入用について

吉成 香澄

慶喜期の将軍「御印判」製作関連史料の紹介(その二)
－御印判製作者選出の変化について－

西 光三

「取締証文」という裁許状－享保期の裁許状の変化－

宮原 一郎

- (3) 第2回研究会〈非常勤研究員・研究生研究発表会〉(H20. 8. 8)

慶応四年の輪王寺宮・東征大総督の「駿府会談」をめぐる

浦井 祥子

江戸城の庶務運営と御用町人足

田原 昇

江戸初頭における譜代大名の機能

小宮山敏和

上野国館林藩の御林守に関する基礎的考察

坂本 達彦

将軍綱吉の加賀前田家本郷邸御成について

清水 聡

山王・神田両祭礼における町奉行所与力・同心の出役について

滝口 正哉

江戸の道づくり

松本剣志郎

(4) 第3回研究会 〈国有林シンポジウム準備研究会〉 (H20. 9. 2)

- 「五戸御代官所御山帳」利用試案 金谷千亜紀
－盛岡藩領における山守の山林管理を中心に－
青森県下の国有林経営と地域社会 脇野 博
天保・弘化期における御林改めと「御林帳」－飛騨・美濃国山林地域を事例に－ 高橋 伸拓
享保度・新立林と私林・民有地の形成－中部森林管理局旧蔵史料を用いて－ 田原 昇

(5) 第4回研究会 (H20. 10. 27)

- 飛騨幕領における木材資源の枯渇と植林政策－享保～延享期を中心に－ 高橋 伸拓

(6) 第5回研究会 (H20. 11. 10)

- 尾張藩主徳川慶勝による櫨木栽培について 藤田 英昭

(7) 第6回研究会 〈国有林シンポジウム準備研究会〉 (H21. 2. 9)

- 盛岡藩「御林帳」にみる林相と山林利用－五戸代官所管轄地を中心に－ 金谷千亜紀
青森県下の国有林経営と地域社会 脇野 博
天保・弘化期における御林改めと「御林帳」－飛騨・美濃国山林地域を事例に－ 高橋 伸拓
享保度・新立林と私林・民有地の形成－中部森林管理局旧蔵史料を用いて－ 田原 昇

(8) 第7回研究会 〈国有林シンポジウム準備研究会〉 (H21. 3. 6)

- 美濃国における木材資源の管理と利用－弘化期「御林帳」を素材として－ 高橋 伸拓

4. 部外発表

- (1) 『東京の消えた地名辞典』 (東京堂出版) 竹内 誠
(2) 江戸の相撲文化 十選 (『日本経済新聞』朝刊文化欄 2009年1月5日～20日全10回) //
- (3) 『江戸城』 (中央公論新社) 深井 雅海
(4) 徳川隠密組織(新・歴史群像シリーズ12『徳川家康』学習研究社) //
- (5) 大奥の構造と女性たちの生活(図録『徳川将軍家ゆかりの女性』(財)徳川記念財団) //
- (6) 国有林史料“恒久的保存”実現への動き(『地方史研究』第332号) 太田 尚宏
(7) 全国森林管理局所蔵史料調査について(2006年トヨタ財団研究助成研究成果 報告書『「環境・資源」の視点に立った日本林制アーカイブズの総合的調査研究』) //

5. 部外出講

- | | | | |
|------------|----------|----|-------|
| (1) 昭和女子大学 | 日本近世史 | 通年 | 太田 尚宏 |
| (2) // | 卒業論文 | 集中 | // |
| (3) // 大学院 | 歴史文化研究ⅠB | 通年 | // |
| (4) 慶應義塾大学 | 歴史Ⅰ・Ⅱ | 通年 | 白根 孝胤 |

[Ⅲ] 史料・図書の収集整理

1. 所蔵史料の整理・データベース作成

- (1) 尾張徳川家文書（尾二・尾三）の再整理を継続し、目録カード作成およびデータ入力を行った（410点）。
- (2) 蟹江鈴木家文書の目録カードを作成した（650点）。
- (3) 石河家文書の目録カードを作成し、データ入力を行った（1,523点）。
- (4) 松原家文書の整理に着手し、目録カードを作成した（751点）。
- (5) 蜂須賀家文書の再整理に着手し、目録細目カード作成およびデータ入力を行った（250件）。
- (6) 徳川林政史研究所収集絵図の再整理に着手し、目録作成を行った（150件）。

2. 研究用史料の写真撮影

原史料の保全および研究のため、以下の史料群に関する写真撮影を実施した。

- (1) 秋田県公文書館所蔵史料（デジタルデータ7,400コマ）。
- (2) たつの市立龍野歴史文化資料館所蔵史料（デジタルデータ11,100コマ）。
- (3) 岐阜県歴史資料館所蔵史料（デジタルデータ39,000コマ）。
- (4) 東京大学法学部法制資料室所蔵「豊田友直日記」第7巻～第19巻（1,405コマ）。

3. 所蔵史料のデジタル化

- (1) ガラス板古写真の画像解析および保存のため、デジタル化を行った。（12点16カット）
- (2) 古写真目録作成準備のため古写真史料35mmフィルムのデジタル化を行った。（2,940コマ）
- (3) 研究の便を図ると共に、今後の情報公開などに活用するため所蔵史料35mmフィルムのデジタル化を行った。（「藩士名寄」15,152コマ）

[Ⅳ] 所蔵史料の目録刊行

- (1) 尾張徳川家文書目録（五）を研究紀要第43号に収録刊行した。
- (2) 石河家文書目録（四）を研究紀要第43号に収録刊行した。

[Ⅴ] 教育・普及

1. 徳川林政史研究所公開講座

徳川林政史研究所・豊島区教育委員会共催

（内 容）	（年 月 日）	（講 師）	（参加者数）
(1) 公開講座開催十周年林政史特別講座 木曾美林の歴史－式年遷宮「御遷木山」－	H20. 9. 4	竹内 誠	106名
(2) 江戸城受取の顛末	9. 11	深井 雅海	114名
(3) 旧幕臣の駿河移住	9. 18	藤田 英昭	111名

(4) 徳川慶勝が見た宮中社会	9. 25	白根 孝胤	113名
(5) 森林をめぐる明治維新－御林から官林へ－	10. 2	太田 尚宏	114名

2. 徳川美術館主催「徳川林政史研究所 古文書入門講座」に講師として参加した。

(内 容)	(年 月 日)	(講 師)
(1) 老中水野忠邦と名町奉行遠山金四郎	H20. 6. 21	竹内 誠
(2) 天保の日光社参	6. 28	深井 雅海
(3) 諸国巡見使と領民 (1)	7. 5	白根 孝胤
(4) " (2)	7. 12	"
(5) 天保の人返し政策 (1)	7. 19	太田 尚宏
(6) " (2)	7. 26	"

3. 公開講座の成果刊行

平成17年度に実施した第7回「徳川林政史研究所公開講座」の成果をまとめた徳川林政史研究所監修『江戸時代の古文書を読む－天保の改革－』（東京堂出版）を刊行した。

4. 講 演・講 座

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
八代将軍徳川吉宗の再評価	北区飛鳥山博物館開館10周年記念講演	H20. 5. 2	竹内 誠
博物館の現状と課題	北信越博物館協議会50周年記念講演 (於松本市)	5. 15	"
江戸の暮らしと文化	厚生労働省厚生労働懇話会講演	6. 5	"
共助の町・江戸に学ぶ	東京消防庁管理職研修講演	7. 24	"
水の都・江戸の魅力	東京都建設局河川愛護月間記念講演	7. 29	"
観光振興について考える	東京商工会議所観光委員会講演	9. 3	"
地域に根ざした博物館	日中韓都市博物館国際会議講演 (於中国瀋陽故宮博物院)	9. 10	"
これからの「まち」づくり	新宿歴史博物館開館20周年記念特別講演	9. 20	"
観光都市江戸の魅力	立正大学文学部公開講座講演	10. 8	"
名力士にみる大相撲の歴史	大分県立歴史博物館特別展記念講演	10. 12	"
江戸に学ぶ地域づくり	第22回新潟県ふるさとづくり大会講演	10. 15	"
江戸庶民の暮らしと知恵	東京銀座ライオンズクラブチャーターナイト48周年記念講演	10. 17	"
なぜ今、江戸ブームなのか	日本アドバタイザー協会講演	10. 24	"
幕末維新の群像を語る	通信協会文化講演会講演	11. 23	"

演 目	主 催 者 等	年月日	担 当
篤姫と和宮	民族衣装文化普及協会講演	H21. 1. 17	〃
江戸文化の特質	国際会議「第4回預金保険機構ラウンド テーブル」特別講演	2. 26	〃
江戸の歳時記	一都七県中堅神職研修会講演	3. 4	〃
江戸幕府の法令とその伝達	國學院大學栃木短期大学公開講座 古文書を読む	H20. 5. 21 5. 28 6. 4 6. 18 6. 25	深井雅海
五代将軍綱吉と側用人政治	國學院大學栃木短期大学日本史学科 学外講座	11. 1	〃
間部詮房と側用人政治	鯖江市「間部学講座」	11. 15	〃
大名の公務について	松代市文化施設等管理事務所講演	H21. 3. 28	〃
都市・江戸の緑と人々	千早地域文化創造館 「千早グリーンカレッジ」	H20. 9. 5	太田尚宏
緑あふれる江戸庶民の暮らし	荒川区環境実践講座 「江戸から学ぶ未来社会」	11. 3	〃
江戸時代の林政の様相	林野庁森林技術総合研修所 養成研修専攻科研修	H21. 3. 2	〃

5. 教育機関等への協力

通常の史料閲覧業務の他、可能な限り教育機関からの調査・見学などに協力した。

- (1) 林野庁森林技術総合研修所平成20年度養成研修専攻科12名による見学を受入。(H21. 3. 2)

6. 案内パンフレットの作成

- (1) 閲覧者向け案内パンフレット(A4判二つ折り)平成20年度版を作成した。

7. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを全面リニューアルし、研究紀要掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

[VI] 図書の収集・整理

1. 図書整理

- (1) 昨年度に引き続き図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、新着図書552冊に対し、ラベル貼付、並びに入力作業を行なった。

4. 徳川記念財団所蔵史料関係

(1) 展示補修等への協力

史料名等	期間	目的
「関白様より治部様御使ニ而御内々御渡ニ相成候請宸翰」 等6点	H20. 5. 26 ~ H21. 5. 25 (予定)	展示
「壬戌仲秋真忠献芹之写 (政治総裁職拜命之節意見書)」 等4点	H20. 7. 7 ~ 8. 29	修復
「(清水様御簾中取扱ニ付答書)」等15件	H20. 7. 24 ~ 11. 10	修復
「(徳川刑部卿殿・尾張前中納言殿御対顔、松平春嶽御目 見の節御意振)」等3点	H20. 9. 10 ~ 11. 20	展示
『寛永諸家系図伝』(仮名本)等13件	H20. 11. 17 ~ H21. 2. 16	展示

[Ⅷ] 平成19年度(第42号)研究紀要の寄贈・頒布

印刷部数 750部 内、寄贈・交換 533冊 頒布 59冊

2. 処務事項

[I] 補助金関係

(1) 科学研究費補助金

- ①科学研究費補助金（特定奨励費）に係る申請・報告事務と経費管理事務を行った。
- ②その他の科学研究費補助金の申請・報告事務と経費管理事務を行った。

基盤研究C	1 件
基盤研究B(研究分担者)	1 件
若手研究B	1 件

[II] 事業評価委員会

平成21年3月13日、外部委員による事業評価委員会が開催され、林政史研究所の平成20年度事業について評価・講評を受けた。

[III] 備品購入（科学研究費補助金 間接経費購入備品）

デジタルカメラ(Nikon COOLPIX P6000)	1台
折りたたみ長机(LIONゼミテーブルTA1845)	2台

2. 徳川美術館拡充整備基金（公益事業）

徳川美術館

〔I〕 寄附金の業務

1. 第3回徳川美術館拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」の認定（平成19年2月9日付）を受け、平成19年2月9日より平成21年2月8日までの2年間、総額2,500万円を目標に寄附金の募集を実施した。

（1）寄附金受付業務

寄附金額（平成19年2月9日より平成21年2月8日まで）

平成20年度（平成20年4月1日～21年2月8日）

4,300,000円 法人2件（4口）・個人59件（390口）

参考

平成18年度 (19. 2. 9～3. 31)	平成19年度 (19. 4. 1～20. 3. 31)	平成20年度 (20. 4. 1～21. 2. 8)
法人1件 300,000円	法人27件 4,250,000円	法人2件 400,000円
個人10件 1,021,000円	個人253件 9,250,000円	個人59件 3,900,000円
計 1,321,000円	計 13,500,000円	計 4,300,000円
寄附金受領額		19,121,000円

（2）大口寄附者に対する感謝状の贈呈（平成20年度）

（個人は30口以上、法人は10口以上）敬称略

法人会員 なし

個人会員 三浦邦雄 吉村和子 長澤弘宣

2. 第4回徳川美術館拡充整備基金

博物館法による「特定公益増進法人」の認定（平成21年2月9日付）を受け、平成21年2月9日より平成23年2月8日までの2年間、総額2,500万円を目標に寄附金の募集を開始した。

(1) 寄附金受付業務

寄附金額（平成21年2月9日より平成23年2月8日まで）

平成20年度（平成21年2月9日～3月31日）

480,000 円 法人1件（3口）・個人7件（18口）

参考

平成20年度 (21. 2. 9～3. 31)	平成21年度 (21. 4. 1～22. 3. 31)	平成22年度 (22. 4. 1～23. 2. 8)
法人1件 300,000 円	_____	_____
個人7件 180,000 円	_____	_____
計 480,000 円	_____	_____
寄附金受領額		480,000円

(2) 大口寄附者に対する感謝状の贈呈

（個人は30口以上、法人は10口以上）敬称略

法人会員 なし

個人会員 なし

〔Ⅱ〕 寄附金の使途

平成20年度は下記の通り使用した。

1. 第2回徳川美術館拡充整備基金

〔文化財保存事業〕

菊折枝蒔絵長刀拵	一振	修理
薄水色地蔓花文浴衣(復元)	一領	購入

2. 第3回徳川美術館拡充整備基金

〔文化財保存事業〕

楽器図衝立	二枚	修理
菊折枝蒔絵長刀拵	一振	〃
羽柴秀吉朱印状 水野忠重宛 (天正十四年)八月九日	一卷	購入
伊勢国年貢皆済状 徳川家康筆 篠山資友宛 慶長十六年三月二日	一幅	〃
和歌短冊「旅路行」徳川斉荘筆	一枚	〃
唐物大海茶入 銘 丸海 附 仕覆	一口	〃
白描源氏物語色紙画帖	一帖	〃
徳川家康書状 祢津松鶴軒(信直)宛 (天正十年)八月七日	一幅	〃
絵入本源氏物語	六十冊	〃

※ 菊折枝蒔絵長刀拵は第2回、第3回の両方による修理

3. 収益事業

総務部

〔I〕住宅賃貸

外国人向け住宅6棟の賃貸

徳川美術館

〔I〕ミュージアムショップの運営・充実

1. 各展覧会に即した商品陳列等、ショップ内のディスプレイを企画・工夫した。
2. ホームページ掲載などにより、ショップの案内及び商品の紹介を行った。
3. 新商品の開発を行った。（携帯ストラップ、ダブルクリアファイル、雛祭り関連商品等）

〔II〕来館者への弁当販売

徳川美術館では、事前に申込みを受けて希望者への弁当販売を行っており、平成20年度分として計10,171食を販売した。